

炊きだしボランティア通信 vol 45

2010. 11月

炊きだし 11月13(土)晴れ 9:00～元寺小路教会(準備) 12:00～五橋公園(炊きだし)

天気よし。炊きだし参加者 62 名(女性 1)並んで待っている方達へ「元路上の方でも生活保護を受けている方の炊きだし参加はご遠慮下さい。」というお手紙を正平協会長の W さんが配って歩いた。それだけ多いということだった。本校のボランティア同好会は今回は二人の参加。ちょうどこの日は S 学園からも二人参加していて4人で仲よくやってよかった。



S 学園の生徒(左)と息のあった衣類作業中です

「今回は人数が少なかったですが、その分やらなければならないことを自分で考え、自分のやるべきことをすることができたと思いました。そして色々な交流もできとてもよい経験ができてよかったです。」(2年)



「いらっしやいませ。おひたしはいかがですか。」

「今回は他のボランティアの他に S 学園の人とも一緒に活動できてとても楽しかった。また今日は積極的に仕事ができたとと思うのでよかったです。」(2年)



次は靴屋さんです。

「このカードに書いてください。」



今日活躍した皆さんです。

献品

高校と小学校の保護者の方からたくさんいただきました。届けました。ありがとうございます。

夜回り

11月10日(水)20:00~21:30 Aさんという教会のご婦人と同行。この方はイノシシ年にちがいないと思わせるほど猪突猛進の方。国際センター裏をまわり、おやすみ中の方に向かってお土産券の説明をし出したので、あわてた。西公園旧図書館。奥の小屋。周囲をビニールテープでぐるぐる巻きに張り巡らし、入り口はガムテープで塞いでいた。そして「立入禁止」の札がはってある。「不法入居者は11月19日までに立ち退くこと。」図書館長名の書き付け。「ひどい」二人でカッとなった。中のおじさんは不在。いちおう声をかけたが応答なし。帰ろうとしたときに、小屋の外の毛布がふくらんでいるのに気づいて声をかけた。本人だった。よかった。

陸橋下のOさんには元気なかった。「市の公園課と教育課が俺をここから追い出そうとそのうち姉を連れてやって来るにちがいない。」とカッカしていた。そのOさんから、公園のそばに黒ずくめおじさんが一人暮らしている、と聞いて帰りに寄ってみることにした。車を降りると、Aさんが「それらしい人を今見かけた」と言って走り出してあっという間にいなくなった。そのことの方にあわててしまった。……

この通信を発行できたことに感謝します。ボランティア同好会顧問 高橋 覚